

## Contents

- |   |  |
|---|--|
| <p>P.1 ▶大学祭 開催！<br/>▶四日市 JAZZ フェスティバルと BAURA ミーティングにスタッフ参加</p> <p>P.2 ▶なごや生物多様性センターまつりに参加<br/>▶隼人池の池干しに参加<br/>▶学生選挙啓発活動で表彰</p> <p>P.3 ▶ジョイントセミナーに参加</p> | <p>P.3 ▶2023 東海・北陸 B-1 グランプリ in 四日市開催<br/>▶ブナ林に設置した調査機器の回収<br/>▶学友会主催クリスマス会を実施</p> <p>P.4 ▶三岐鉄道北勢線「サンタ電車」イベントに協力<br/>▶久留倍官衙遺跡公園を訪問<br/>▶第 60 回全日本学生室内テニス選手権大会に出場</p> |
|---|--|

## 大学祭 開催！

10 月 28 日（土）、大学祭を開催しました。コロナ禍前の大学祭は例年 10 月の最終土日に 2 日間開催をしていましたが、今年度の大学祭は土曜日のみの開催となりました。昨年度の大学祭とは違い、販売のみの模擬店も許可されるなど、コロナ禍前の大学祭に近いものとなりました。模擬店は仕入れて販売する形でしたが、販売品は即完売するなど、小さい規模ながらも賑わっていました。アーティストライブも数年ぶりに開催され、「クジラ夜の街」が魅せてくれました。スタジオでは壁面を開け放ち、半野外ステージとして数年ぶりに利用され、吹奏楽団や軽音楽部が演奏を披露しました。この演奏には、環境情報学部メディア情報専攻の学びの一環として、照明や音響を学ぶ研究室に所属する学生たちが、指導教員のもと、演奏を活かす照明や音響を担当しました。照明や音響を学んでいる学生たちには実践的に学ぶ貴重な一日となりました。それぞれの学生にとって心地よい疲労感と達成感、そして学びのある大学祭でした。



スタジオオープンスタイルでの  
軽音楽部の演奏



吹奏楽団の演奏



大学祭実行委員会の学生たち



模擬店（小林ゼミ）



ステージを支えるメディア情報  
専攻の教員と学生たち



模擬店（留学生会）



模擬店（茶道部）

## 四日市 JAZZ フェスティバルと BAURA ミーティングにスタッフ参加

10 月 21 日（土）、22 日（日）に第 10 回四日市 JAZZ フェスティバルが開催され、「音楽とまちづくり」を受講している学生 60 名がボランティアスタッフとして参加しました。市内 20 会場で同時並行的に演奏が行われることに合わせ、学生たちも様々な会場で運営を支えました。

同じ 22 日（日）に四日市港付近で、四日市港の賑わい創出を目指した BAURA ミーティングが開催され、謎解きしながら街歩きをするウォークラリーイベントを近畿大学の学生と共に企画運営しました。



四日市 JAZZ フェスティバル  
開始前打ち合わせの様子



BAURA ミーティング

## なごや生物多様性センターまつりに参加

10月28日（土）、名古屋市環境局のなごや生物多様性センターにて開催された「なごや生物多様性センターまつり」に環境情報学部の野生動物保全学研究室が昨年に引き続き展示ブース参加をしました。このイベントでは、本学の他にも名古屋港水族館など様々な団体が展示や体験のブースを出展、愛知県内の高校の生物部などが研究成果を発表する場となっています。

本学のブースでは、ゼミ学生の研究を中心に紹介しました。淡水魚の説明をするために魚を採集して水槽で展示し、コウベモグラの剥製、フェモラータモモプトハムシの標本とクズのツルに幼虫が形成したゴール（虫こぶ）を展示しました。さらに学生の研究内容をポスターにして展示もしました。生きものの展示は来場の子供たちには人気で説明に聞き入っていました。学生たちは他のブースの参加者とも交流もあり、自身の研究について意見をもらうなど、とても有意義な時間となりました。



野生動物保全学研究室の学生たち



水槽の淡水魚の説明をする様子



フェモラータモモプトハムシの標本



コウベモグラの剥製展示の様子

## 隼人池の池干しに参加

11月19日（日）、なごや生物多様性保全活動協議会主催の隼人池（名古屋市昭和区）の池干しに野生動物保全学研究室の学生が参加しました。隼人池では2009年にも池干しが行われており、14年ぶりの池干しになりました。池干しには地域の子供たちも参加して水が抜かれた池の中に入り、泥だらけになりながら魚などの生きものを捕まえて保護します。捕まえた魚はあらかじめ準備された生けすに、在来種と外来種に分け、水生昆虫などの在来種を捕食する外来種のブルーギルやアメリカザリガニは池から取り除かれます。隼人池は都市域の池ですが、山崎川を介して海と繋がっており、ニホンウナギも上がってきます。今回、保護した在来種のモツゴやニホンウナギは、再び池の水がいっぱいになった後に池に戻されます。池干しをすると外来種が取り除かれるので一時的に在来種が増えますが、外来種の取りこぼしがあるため、何年かすると外来種が戻ってしまうことがあります。そのため、池干し後も継続的なモニタリングが必要で、本研究室も調査に協力する予定です。



生きものを捕獲



捕まえた生きものを分類



在来種の説明の展示

## 学生選挙啓発活動で表彰

12月1日（金）、四日市市選挙管理委員会の渡邊八尋委員長から、総合政策学部3年の桐山裕汰さんが表彰されました。これは四日市市選挙啓発学生会「ツナガリ」でのこれまでの取り組みが評価されたものです。

10月に開催された大学祭でも模擬投票の体験コーナーを設けるなど、機会あるごとに選挙啓発活動に取り組んでいます。

➡「ツナガリ」：四日市市選挙管理委員会と本学とが連携して、同世代の投票率向上を目指し活動する学生ボランティアサークル団体です（平成22年12月に立ち上げ）。



表彰の様子



大学祭での模擬投票体験コーナー



## ジョイントセミナーに参加

12月2日（土）、3日（日）、山梨県立大学国際政策学部、中央学院大学法学部、本学総合政策学部から地方自治や公共政策について学んでいるゼミが集まって研究を発表し合い、意見交換するイベント「ジョイントセミナー」が山梨県立大学飯田キャンパスを会場に開催されました。全11チームが発表し、最優秀賞（グランプリ）は中央学院大学坂井ゼミのチームが受賞しましたが、優秀賞（準グランプリ）に本学的小林ゼミの1チームが他大学の2チームとともに選ばれました。日頃接することのない他大学の学生との意見交換や他大学の先生からの鋭いコメントなど、参加した学生たちにとっては貴重な経験となりました。このジョイントセミナーは毎年開催されています。学生たちはジョイントセミナーに向けた準備を日々の授業の合間に行っており、本学からは毎年小林ゼミが参加しています。



小林ゼミ発表の様子



優秀賞の賞品を受け取る  
小林ゼミの代表



四日市とんてき協会のブース  
に参加した学生たち



大入道山車曳き回しの様子

## 2023 東海・北陸 B-1 グランプリ in 四日市開催

11月18日（土）、19日（日）に四日市市の三滝通り周辺で、ご当地グルメでまちおこしの祭典「2023 東海・北陸 B-1 グランプリ in 四日市」が開催されました。本学も様々な形でこのイベントにかかわりました。大会ボランティアとして会場で行列の整理や、四日市とんてき協会のブースへのスタッフとしての参加のほか、会場外では本学の部活動である旅倶楽部の学生たちが、近畿日本鉄道の特別列車「高速 B-1 グランプリ号」の企画運営も行いました。また、イベントの盛り上げ役として登場した四日市のシンボリック存在である大入道山車の曳き回しにも参加するなど、B-1 グランプリをいろいろな角度から盛り上げました。

## ブナ林に設置した調査機器の回収

環境情報学部の野呂・廣住・千葉研究室は、四日市大学自然環境教育研究会（保黒代表）と共同で朝明川源流域伊勢谷のブナ林の保全活動と調査を実施しています。これまでに本誌の8号と9号にも調査を取り上げています。

11月26日（土）には、6月と8月に設置した調査機器（8地点の温湿度計とセンサーカメラ）を、本格的な冬が始まる前に保黒氏と学生3名と千葉教授で回収作業を行いました。ブナ清水（標高950m）辺りから残雪（最近降った雪）が目立ち始め、稜線（標高1080m）の登山道周辺は約1cmの積雪で一面が銀世界でした。強い吹雪があったようで、山頂付近のブナなどの樹木の幹に雪がはりついていました。道中では倒木の裏にいる希少生物を探したり観察したりしながら回収しました。



稜線近くの場所で記念撮影



希少生物を見つけて撮影

## 学友会主催クリスマス会を実施



12月20日（水）、学友会主催のクリスマス会を実施しました。当日はクリスマス会を実施するアピールとして教職員もパーティ帽をかぶって学生対応をし、学内にはクリスマスの装飾を施してクリスマス会を盛り上げました。スタジオでは軽音楽部と吹奏楽団が合同で演奏会をし、留学生による民族舞踊の披露やビンゴ大会も行い、学生同士が楽しく交流しました。

## 三岐鉄道北勢線「サンタ電車」イベントに協力

12月23日(土)に、三岐鉄道北勢線の認知と乗車率の向上を目的としたイベント「サンタ電車」が実施され、本学が協力しました。総合政策学部の「鉄道とまちづくり」を受講する学生が協力し、「サンタ電車」は2010年に始まりコロナ禍の2020、2021年を除いて毎年実施されています。

「サンタ電車」内では、サンタに扮した学生が乗車したお子様にお菓子を配りました。東員駅のホームでは、四日市市、桑名市、いなべ市、東員町のご当地キャラクターとのふれあいイベントや本学の吹奏楽団による演奏も実施されました。この「サンタ電車」イベントには、2千人余りが参加しました。毎年楽しみにしてくれているご家族もいて、今年も大いに賑わいました。



お菓子を配る学生サンタ



吹奏楽団の演奏



車内クリスマスラッピング



クリスマスラッピング外観



八脚門前にて



古代人衣装を纏って記念撮影



木簡体験

## くるべ かんが 久留倍官衙遺跡公園を訪問

本学E S L (English Support Lounge) では、日本の歴史や地理について英語で読む活動を行っています。この活動として、12月27日(水)、3名の参加学生が、本学から車で5分の場所にある国指定遺跡「久留倍官衙遺跡公園」(四日市市大矢知町)を訪問しました。参加者たちは、施設内にある「くるべ古代歴史館」でボランティアの方から官衙について説明を受けました。E S Lで読んでいる資料に古代の役所のことも書かれており、学びが深まりました。またこの遺跡は、日本書紀などに記述のある天皇の行事に深い関係がある可能性があることを教えていただきました。歴史公園には当時の建物が当時の工法で復元され、実際に柱を触り堀のあった場所を歩きました。係の方から、全国に60か所ある同種の遺跡の中でも棄損の少ない状態で残っているものは珍しいこと、建物が東向きに建てられていることが非常に特徴的であることなどを伺いました。その後、古代歴史館に戻り、古代人の衣装を着る体験をし、「木簡」という荷札として荷物につけたと言われる木片に字を書く体験もし、英語の学習からフィールドワークにつながりました。

## 第60回全日本学生室内テニス選手権大会に出場

2023年度全日本学生室内テニス選手権が、12月13日(水)～17日(日)の開催期間で、東京都有明テニスの森公園テニスコートにて開催されました。本学からは総合政策学部4年の谷川大雅さんが男子シングルス本戦に出場しました。結果は惜しくも1回戦で敗退となりましたが、これまで多くの全国大会に出場し、数々の結果と逞しい姿を見せてくれたことは、部員を始め多くの人に刺激や感動をもたらしてくれました。



※本号は2023年10月から12月までの情報を中心に掲載しています。

